

北部港湾広域利用推進会議報告書

～地域を元気にする北部港湾を目指して～



平成30年7月

京都府

目 次

1 「北部港湾広域利用推進会議報告書」について	1
(1) 北部港湾について	1
(2) 港をとりまく状況について	1
(3) 北部港湾広域利用推進会議設置の背景	2
(4) 目標年次と対象範囲	2
2 北部港湾の強みと弱み	3
(1) 地理的特性	3
(2) 人流	4
(3) 物流	5
3 北部港湾の課題	6
(1) 人流	6
(2) 物流	6
(3) エネルギー	6
4 北部港湾の目標年次における将来像	7
(1) 京都舞鶴港	7
(2) 宮津港	8
(3) 久美浜港	9
5 北部港湾の目指すべき方向性	10
(1) 基本的な考え方	10
(2) 人流	10
(3) 物流	11
(4) エネルギー	12
6 地域を元気にする港湾施策	13
7 ロードマップ	14
8 進捗確認と検証	15
9 北部港湾広域利用推進会議報告書の位置付け	16
10 参考資料	17

1 「北部港湾広域利用推進会議報告書」について

(1) 北部港湾について

京都舞鶴港、宮津港及び久美浜港(以下「北部港湾」という)は、日本海沿岸エリアのほぼ真ん中に位置しています。

京都舞鶴港は、1901年(明治34年)に舞鶴鎮守府が設置され軍港として開港しましたが、1913年(大正2年)には、商港としての利用が始まりました。2010年(平成22年)に舞鶴国際ふ頭が完成し、2011年(平成23年)には近畿唯一の日本海側拠点港に選定され、コンテナ航路の誘致や港湾整備など着実に取り組みが進められています。

宮津港は、景勝地「日本三景」の天橋立を擁し、日本各地から旅行客が訪れる観光地として栄えてきました。江戸期には西廻り航路の港町として栄え、旧三上家住宅や常夜灯などの街並みが残っています。昭和50年代に鶴賀地区の再開発が行われ、現在は、定期船航路など観光港として利用されるほか、鉱石輸入や水産業の拠点として発展しています。

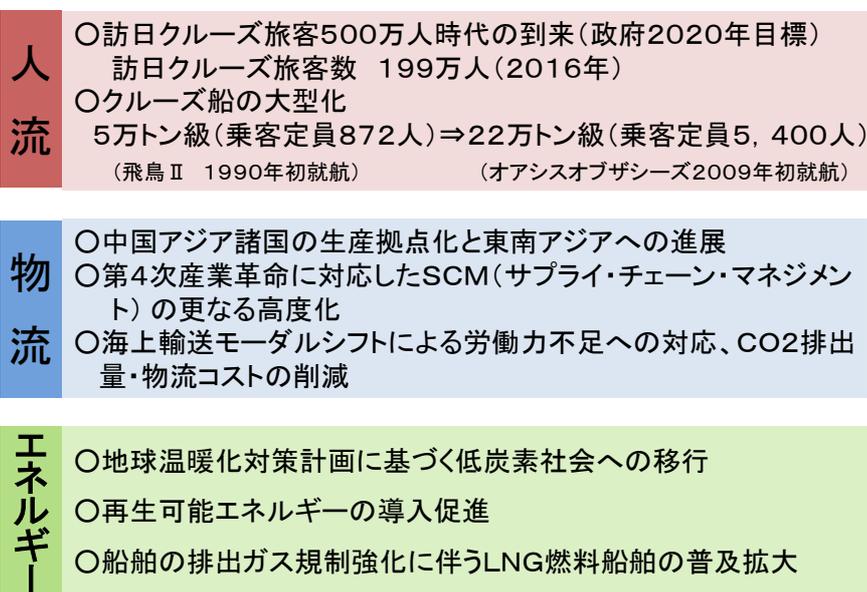
久美浜港は、小天橋により日本海と久美浜湾が隔てられ、水戸口と呼ばれる水路で結ばれています。江戸期には、北前船による貿易で賑わい久美浜代官所も置かれていました。現在は、漁業関係者とプレジャーボートが主な利用者となっています。

(2) 港をとりまく状況について

政府は、2020年に訪日クルーズ旅客500万人を目標にしています。2016年時点で199万人に達しており、2万トン級にのっぼん丸や5万トン級の飛鳥IIなどの日本船から大型の外航クルーズ船が多く寄港するようになり、オアシス・オブ・ザ・シーズなどの20万トンを越える船が就航するなど、寄港数の増加とともに船そのものも大型化しています。

また、中国などのアジア諸国の生産拠点化や東南アジアへの進展、第4次産業革命に対応したサプライ・チェーン・マネジメントの更なる高度化や海上輸送のモーダルシフトによる労働力不足への対応、物流コストの削減など大きな社会の変化がおきています。

エネルギーの分野においては、世界的に低炭素社会への移行の流れがあり、我が国においても再生可能エネルギーの導入促進や環境負荷の小さいLNG燃料船の普及拡大が見込まれています。



大きな社会の変化

(3) 北部港湾広域利用推進会議設置の背景

平成29年度の京都府組織改正により、現地現場主義の推進を掲げ、現場での即応力の向上を図るため、本庁組織として舞鶴市内に港湾局を設置しました。

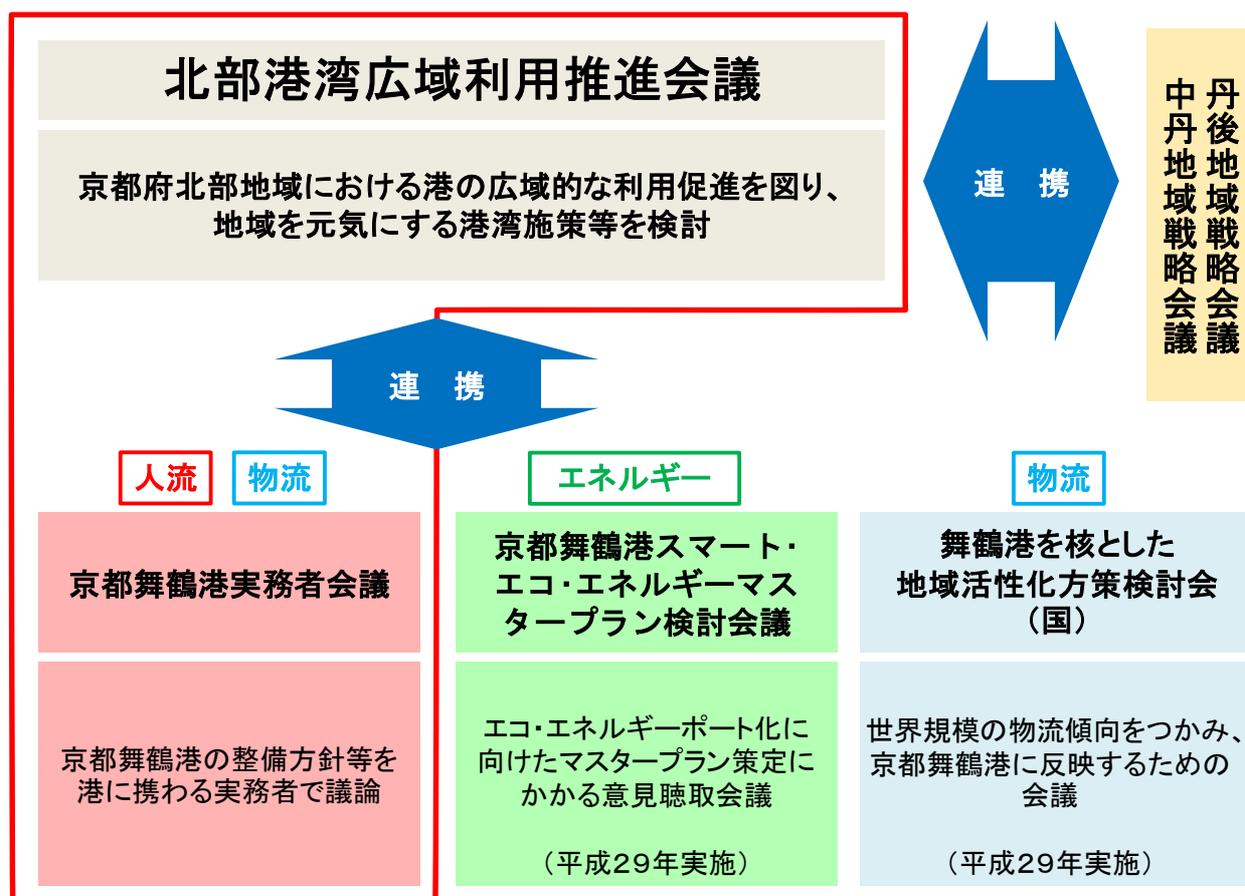
舞鶴市には、財務省京都財務事務所舞鶴出張所や大阪税関舞鶴税関支署、国土交通省近畿地方整備局舞鶴港湾事務所、第八管区海上保安本部や近畿運輸局京都運輸支局、法務省大阪検疫所、大阪入国管理局舞鶴港出張所、厚生労働省大阪検疫所、農林水産省神戸植物防疫所大阪支所、防衛省海上自衛隊舞鶴地方総監部など港に関わる行政機関等が多数設置されており、府の本庁課を舞鶴に設置することで、問題把握、課題解決、政策立案の迅速化が期待されています。

今回、港に関わる実務者や関係者が一堂に会して、将来の港の姿や課題解決などについて議論し、各関係機関が連携して港湾振興に取り組めるよう当会議を設置することとなりました。

(4) 目標年次と対象範囲

2030年頃を目標年次とし、京都府北部地域の京都府管理港湾において、概ね完成等が見込める状況を検討することとしました。

【北部港湾広域利用推進会議のスキーム】



2 北部港湾の強みと弱み

(1) 地理的特性

- 北東アジア、極東ロシアへの距離的優位
- 国際的な観光地・京都が背後に存在
- 壮大なリアス式海岸湾奥への入港風景
- 湾内における静穏性
- 阪神港と大差ない東南アジアとのリードタイム
- 日本三景天橋立への多くの観光客の訪問と客船からの洋上アプローチ
- 京都縦貫自動車道の整備による各北部港湾へのアクセス性の向上
- 国内外で人気の高い城崎等の温泉地へのアクセス性
- かぶと山からの雄大な眺望
- 「城下町に由来する風情ある久美浜の街並み」などの京都府景観資産への登録
- 山陰海岸ジオパーク、山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園などの雄大な自然景観



(2) 人流

① 活かすべき強み

ハード面

- ✓ 天橋立や大江山などの豊富な観光資源、文化財・史跡が多く存在
- ✓ 海の京都駅(仮称)整備事業による受入環境の向上
- ✓ 周辺高速道路網の整備によるアクセス性
- ✓ テンダーボートでの非日常的な上陸体験
- ✓ 南海トラフによる災害リスクの低さ

ソフト面

- ✓ 海の京都DMOの設置
- ✓ 北部港湾広域利用推進会議の設置による連携体制
- ✓ 舞鶴・小樽間の国内フェリー航路
- ✓ 国際フェリー航路による韓国・極東ロシアとのつながり

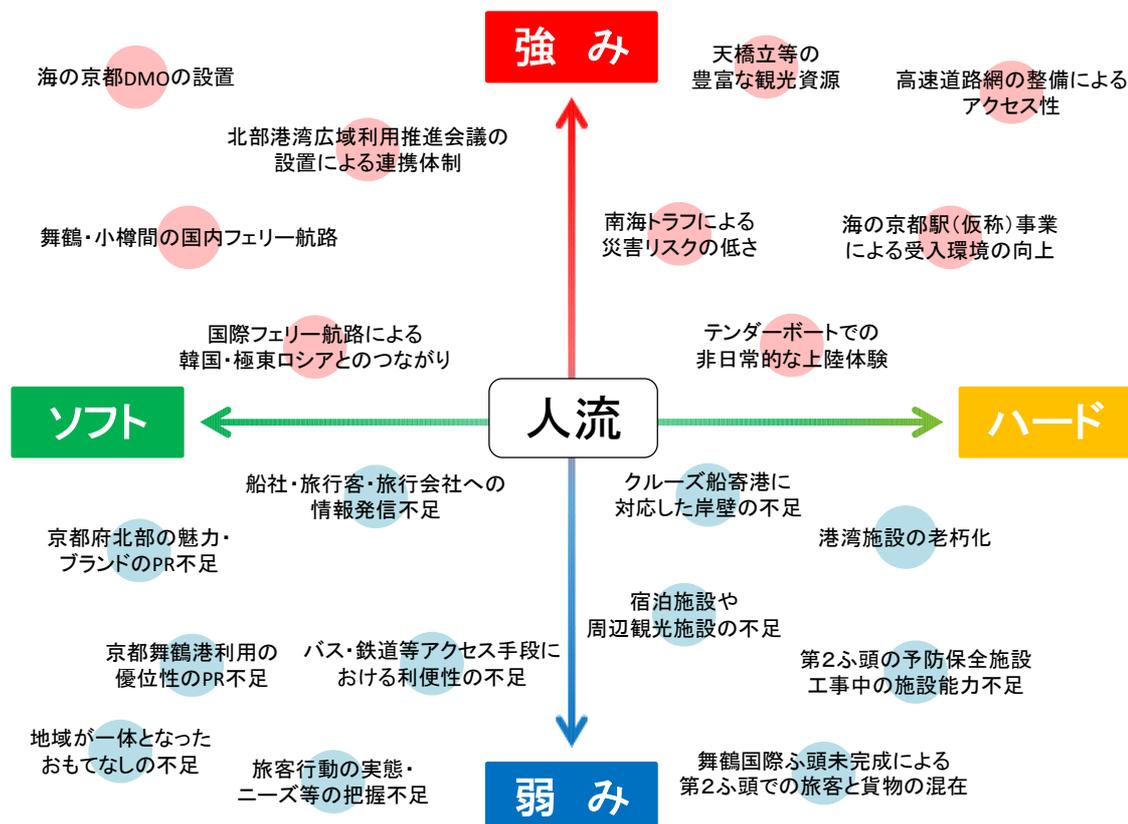
② 弱み

ハード面

- ✓ クルーズ船寄港に対応した岸壁の不足
- ✓ 宿泊施設や周辺観光施設の不足
- ✓ 第2ふ頭の予防保全施設工事中の施設能力不足
- ✓ 舞鶴国際ふ頭未完成による第2ふ頭でのクルーズ旅客と貨物との混在
- ✓ 港湾施設の老朽化

ソフト面

- ✓ 鉄道やバス等港から観光地へのアクセス手段における利便性の不足
- ✓ 京都府北部の魅力・ブランドのPR不足
- ✓ 船社・旅行者・旅行会社への情報発信不足
- ✓ 旅客行動の実態・ニーズ等の把握不足
- ✓ 京都舞鶴港利用の優位性のPR不足
- ✓ 地域が一体となったおもてなしの不足



(3) 物流

① 活かすべき強み

ハード面

- ✓ 周辺高速道路網の整備によるアクセス性
- ✓ 湾内の静穏性による荷役の安定性
- ✓ 舞鶴国際ふ頭の一部延伸による機能強化
- ✓ 周辺工業地帯の立地企業の増加
- ✓ 南海トラフによる災害リスクの低さ

ソフト面

- ✓ 通関等手続きの迅速性
- ✓ 港湾諸料金の安さ
- ✓ 国内フェリー航路による北海道・小樽間の輸送が可能
- ✓ 国際フェリー航路による韓国・極東ロシアへの輸送が可能
- ✓ 配送運賃の低さ、低廉な人件費、安価な土地価格、保管コストの低さ(都市圏発と比較して)

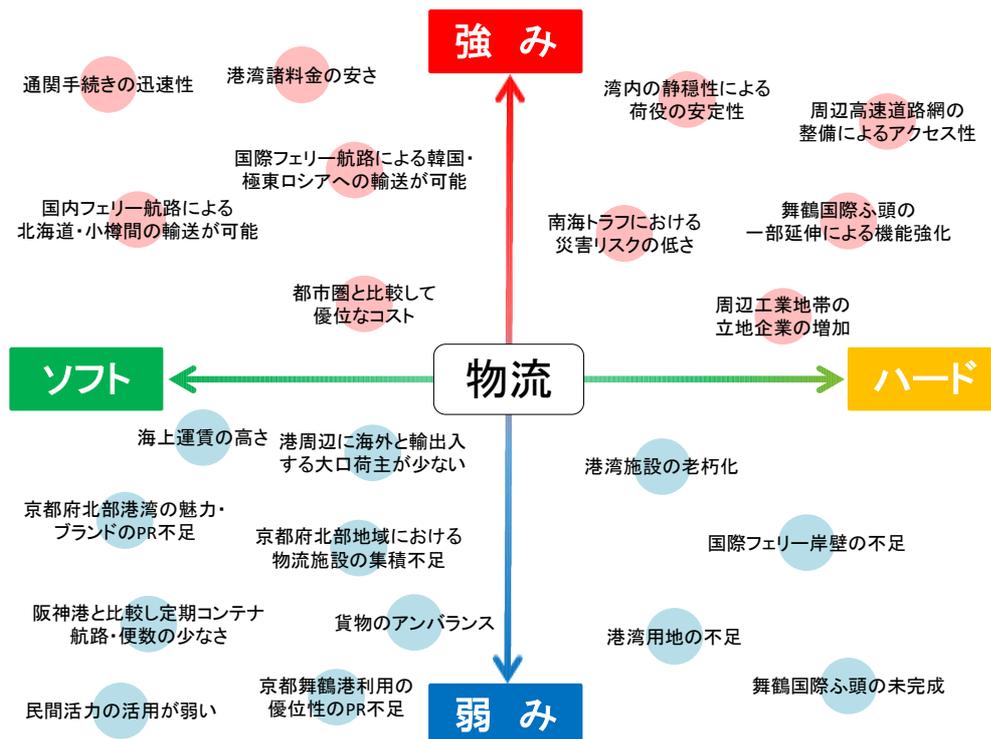
② 弱み

ハード面

- ✓ 舞鶴国際ふ頭未完成
- ✓ 港湾用地の不足
- ✓ 国際フェリー岸壁の不足
- ✓ 港湾施設の老朽化

ソフト面

- ✓ 港周辺に海外と輸出入する大口荷主が少ない
- ✓ 京都府北部港湾の魅力・ブランドのPR不足
- ✓ 京都舞鶴港利用の優位性のPR不足
- ✓ 民間活力(の更なる活用)が弱い
- ✓ 京都府北部地域における物流施設の集積不足
- ✓ 阪神港と比較し定期コンテナ航路数・便数の少なさ
- ✓ 海上運賃の高さ
- ✓ 都市圏と京都舞鶴港方面の貨物のアンバランス(空荷輸送の発生)



3 北部港湾の課題

(1) 人流

- ① クルーズ船の寄港に伴う地域振興への貢献
- ② 第2ふ頭の旅客船専用ふ頭化と大型化への対応及び受入施設機能の強化
- ③ 国際フェリーの直行化
- ④ 港湾周辺の遊休土地の活用
- ⑤ フェリー・クルーズ市場・関連産業の形成
- ⑥ ブランド化、高付加価値化
- ⑦ にぎわいある港のまちづくり
- ⑧ 民間活力の導入

(2) 物流

- ① 港周辺への海外と輸出入する大口荷主の誘致
- ② 小口貨物等の更なる取り込み
- ③ 定期コンテナ航路数・便数の拡充
- ④ 荷役機械の老朽化、高度化
- ⑤ コンテナヤードの不足
- ⑥ 倉庫や荷捌き施設の不足
- ⑦ 背後圏の物流拠点の不足
- ⑧ リダンダンシー機能の確保（BCP^{※1}、L1津波^{※2}対応等）
- ⑨ 国際フェリーの大型化、ターミナルの機能強化
- ⑩ 民間活力の導入

※1・自然災害等発生後の港湾機能が最低限維持できるよう示した事業継続計画

※2・おおむね数十年から数百年に一度発生する比較的発生頻度の高い津波

(3) エネルギー

- ① 更なるエネルギー供給施設の集積
- ② エネルギーの最適利用
- ③ ガスパイプラインやLNG基地などのエネルギーインフラの整備

【京都舞鶴港の現況】



— 西港全景 —



— 舞鶴国際ふ頭



— 前島ふ頭 —

4 北部港湾の目標年次における将来像

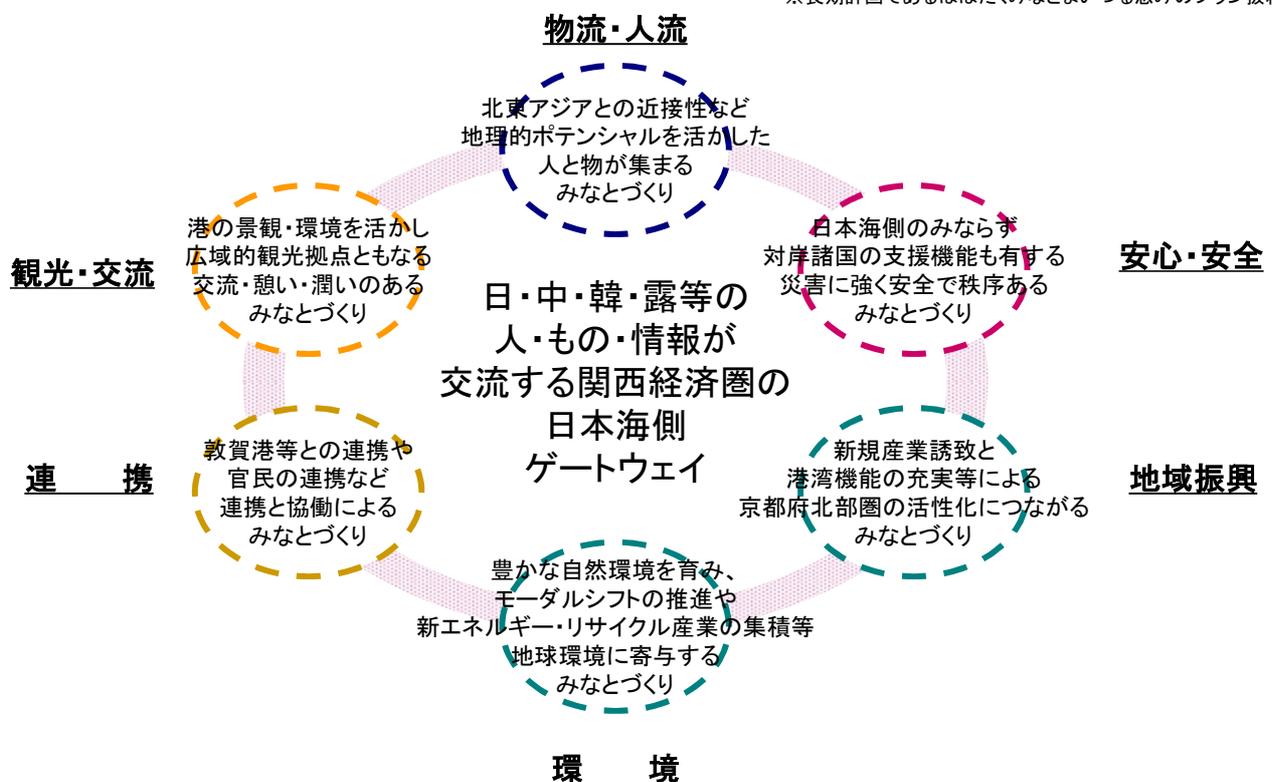
京都舞鶴港、宮津港、久美浜港は、ブランド化の強化を図り、それぞれの強みを活かして機能分担することで、更なる活性化を目指して、「京都港」として、一体的にクルーズ船誘致などの取り組みを進めていきます。

(1) 京都舞鶴港

京都舞鶴港の目指す姿として「日・中・韓・露等の人・もの・情報が交流する関西経済圏の日本海側ゲートウェイ」を掲げ、「物流・人流」「観光・交流」「連携」「地域振興」「安心・安全」「環境」の6つのキーワードで、多様な振興施策を進めます。

(「はばたくみなとまいつる恵みのプラン」より抜粋)

※長期計画であるはばたくみなとまいつる恵みのプラン抜粋



(2) 宮津港

宮津港の目指す姿として、日本三景「天橋立」周辺地区を海の京都観光圏の主たる滞在促進地区に位置付け、港町・城下町の風情が残る宮津市街地の湾岸域について、豊かな食文化を体感できる「海の京都の台所」、陸と海の結束点としての「丹後観光のゲートウェイ」としての魅力向上を図り、京都府北部地域の中核的な観光地づくりを推進します。

(出典:海の京都観光圏整備計画、天橋立地区マスタープラン、宮津まちなか観光推進プラン)

観光・交流・地域振興

日本三景「天橋立」に加えて、湾岸部に位置する道の駅「海の京都 宮津」、「宮津漁師町観光商業センター」、「みなとオアシスたいみやづ」等を活用し、湾岸域一帯となった観光施設の充実を図るとともに、「食事処」「宿泊処」「土産処」を整備し、通過型観光地から滞在型観光地への転換を図ることにより、地域振興と活力創出を目指すみなとづくり

天橋立を望む 歴史文化の息づく海のみやこ 「住んでよし訪れてよし」のみなとまち

環境保全

天橋立の世界遺産登録を目指した環境保全の取組や、太古の聖地としての品格と情緒を感じさせる景観の創出、阿蘇海の浄化や新エネルギーの活用推進など環境への負荷を低減する取組を進め、世界に誇る美しいみなとづくり

歴史・文化・景観

自然と人々の暮らしが融合した天橋立に代表される文化的景観のまちなみや、北前船の寄港地として賑わいをみせた港町・城下町の歴史や文化を保全・継承し、新たな地域資源としての価値を創出していくみなとづくり

(3)久美浜港

城下町に由来する風情ある久美浜の街並み」が京都府景観資産登録

- ・ 久美浜湾の波静かな水面と、遠く対峙するかぶと山の雄姿は自然豊かで風光明媚な景観を形成しており、これらの良好な景勝地とともに沿岸の街並みが貴重な文化的景観として保全されています。

(出典:京都府建設交通部都市計画課)

観光・交流

地産・地消による、ここにしかないほんまもんの「食」、カヌーや遊覧船など雄大な自然を活用した感動のアクティビティなどおもてなしのみなとづくり

“旬”でもてなす食のみなとまち

「癒しの食」「素晴らしいふるさとの資源」あふれるみなと

世界ジオパーク

小天橋海岸からのロングビーチやかぶと山からの眺望など大自然を満喫できるユネスコ世界ジオパークの自然環境と調和したみなとづくり

文化・歴史

歴史・文化資源や町並等をじっくり歩いてその場の空気を感じられるまちづくりと風土に根ざして営まれてきた水産業という生業により形成された久美浜湾とカキの養殖景観と調和したみなとづくり

5 北部港湾の目指すべき方向性

(1) 基本的な考え方

近年 ICT の発達、様々な経済活動をデータ化し、そうしたビッグデータを、インターネットを通じて集約し分析・活用(IoT/AI)することで、新たな経済価値を創出しており、我々の生活や経済をより豊かで便利なものにしていきます。港湾を取り巻く人流・物流及びエネルギー分野においても、このような大きな変革を踏まえ、先進的でグローバルな取り組みを積極的に進めることにより、北部港湾が地域活性化の牽引役として一層大きな役割を果たしつつ、唯一無二の魅力をもった港として持続的に発展していくことを目指します。

また、北部港湾は魅力的な地域資源を有効に活用し、京都港としてのブランド強化を図り、北部地域をはじめ広域での交流活性化を目指します。

(2) 人流

① 日本海側の玄関口としての観光ゲートウェイの機能強化

クルーズ、フェリー等船による観光市場が拡大しており、旅客船の大型化もなされています。これらの受け入れのための施設機能の強化や京都府北部一体となったおもてなし環境の創出により、京都港として一体的に観光客の誘致を進め、日本海側における海の玄関口としての機能強化を図ります。

② 地域資源を活かし、連携と協働による京都府北部のブランドの創出と交流活性化

天橋立、伊根湾、赤レンガ倉庫群、久美浜湾、福知山城、グンゼ博物館などの観光、かに、かき、フルーツ、スイーツなどの食、丹後ちりめん、地酒などの特産品等豊富な地域資源を活かし、多様な交通手段による広域周遊観光の促進や京都府北部のブランド強化を図ります。

③ 景観整備等、各港の特徴を踏まえた魅力向上

山陰海岸ジオパーク、山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園や若狭湾国定公園の自然景観、京都府景観資産等の街並み景観などと、みなとそのものが創出する景観との調和を図るため、景観に配慮した港湾施設の整備や、民間施設の景観誘導に努めます。



図 第2ふ頭のイメージ



図 「海の京都駅」の内部イメージ



図 「海の京都駅」の外部イメージ

(3) 物流

① 新たな価値の創出に向けたロジスティクス機能の強化

北東アジアとの近接性等の優位性を活かし、大口荷主や広域物流施設の誘致や海上輸送サービスの拡大、京都府北部地域の特産品輸出拡大に向けた設備整備、舞鶴国際ふ頭の整備や ICT の活用などロジスティクス機能の強化を図ります。

② 国際・国内一体となった高速海上シームレス輸送の実現

北海道小樽との国内フェリー航路を活かし、新たな国際フェリー航路の開設や既設の国際フェリー航路の大型・直行化により、府内産の農水産物等の輸出入拡大にも資する国際・国内一体となった高速海上シームレス輸送の実現を目指します。

③ 平時の利用を前提とした太平洋港湾のバックアップ機能強化

京都舞鶴港舞鶴国際ふ頭第2バースの早期整備、前島ふ頭耐震機能の強化を図るとともに、既存定期航路の便数増を実現し、災害発生時における太平洋側のリダンダンシー機能を視野に入れた京都舞鶴港の利用促進を図ります。

④ 韓国、中国、極東ロシアの物流ゲートウェイ機能の強化

中国の一帶一路構想や朝鮮半島など近隣情勢を視野に入れつつ、急速な経済発展を遂げる北東アジアや東南アジアの貨物需要を取り込むため、釜山港との連携強化や中国・ロシア航路の充実など、物流ゲートウェイ機能の強化を図ります。

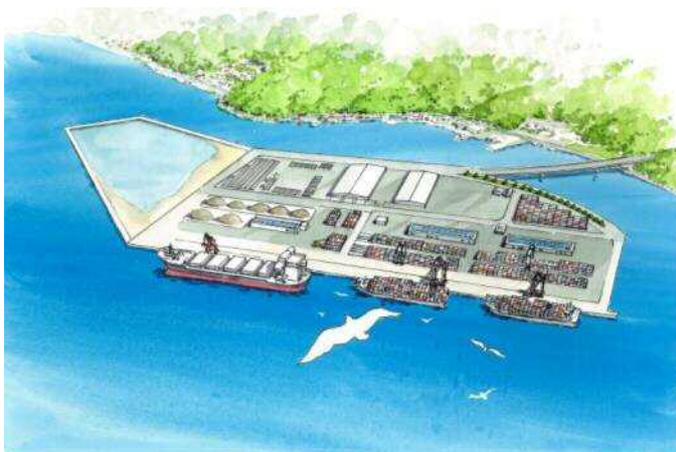


図 舞鶴国際ふ頭のイメージ



図 前島ふ頭のイメージ

(4) エネルギー

① 環境負荷の少ない新たなエネルギー拠点

港湾周辺に立地する港湾・物流施設やおもてなし関連施設において、再生可能エネルギーなどの新エネルギーの供給拠点化とICTを活用した情報基盤を整備し、エネルギーの地産地消を進め、港湾一帯の低炭素化を図ります。

② 再生可能エネルギー利用と情報化による高度な機能

港湾一体の低炭素化の推進と港湾内における各種業務の情報化を進めるため、ICTを活用して限られたふ頭用地や港湾施設などについて、高度で安全な港湾物流設備の導入を検討し、京都舞鶴港エコ・エネルギー・ポート化を推進します。

③ 再生可能エネルギー及びICTを活用したグローバルかつ高質なおもてなし

来港者や観光客へのサービスやおもてなしの提供に際しては、ICTを活用することで、自動翻訳やキャッシュレス化、デジタルサイネージによる双方向のコミュニケーション化の実現など更なる利便性・快適性・顧客満足の向上に努めるなど観光拠点機能の充実を図ります。



図 エネルギーの将来イメージ図

(引用: 京都舞鶴港スマート・エコ・エネルギーマスタープラン)

6 地域を元気にする港湾施策

凡例： ●…ハード事業 ○…ソフト事業 【共】…京都舞鶴港、宮津港、久美浜港 【舞】…京都舞鶴港 【国】…舞鶴国際ふ頭 【2】…第2ふ頭 【平】…平ふ頭 【喜】…喜多ふ頭 【前】…前島ふ頭

	目指すべき方向性	短期（～2022）	中期（～2025）	長期（～2030）
人	①日本海側の玄関口としての観光ゲートウェイの機能強化	○乗船客のニーズ・行動等の科学的分析に基づく消費拡大策の実施【共】		
		○ふ頭内のキャッシュレス化の実現【共】	●16万トン級の大型クルーズ船の受入環境整備【2】	
		●第2ふ頭の大型化対応（増深等）【2】	○IoT/AIを活用した観光拠点機能の充実【共】	
②地域資源を活かし、連携と協働による京都府北部のブランドの創出と交流活性化	○SNSや多様なメディアを活かした情報発信と外国語案内等の整備（デジタルサイネージ等による観光情報の提供）【共】	●前島国際フェリー受入体制構築（岸壁）【前】	○臨港地区内におけるカート等による自動運転【2】	●前島国際・国内フェリー機能強化（ターミナル等）【前】
	○Wi-Fi環境の整備【共】	○国土地・府有地等を活用した施設の誘導【舞】		○港湾周辺への自動運転の拡張【共】
	●「海の京都駅」整備（第1種上屋の旅客ターミナルへの転換、展望デッキの設置、外貨両替設備の整備等）【2】			○国際クルーズ拠点形成による民間投資の促進（国際旅客船拠点形成港湾）【2】
③景観整備等、各港の特徴を踏まえた魅力向上	○民間活力活用の検討【共】	○国際・国内フェリーを活かした観光客の誘致【共】	○レンタサイクル等を活用した西舞鶴、東舞鶴間の誘導【舞】	○効率的・効果的な港湾運営体制の構築【舞】
	○インバウンド対応の強化【共】			●北部港湾を結ぶアクセス性の向上【共】
	○客船寄港時の広域的に連携した歓迎（北部5市2町への誘導）【共】	●北部港湾全体の景観対策【共】		●港湾の特徴を活かしたまちづくり【共】
④景観整備等、各港の特徴を踏まえた魅力向上	●バスターミナル、タクシー乗り場の充実【2】			
	●太陽光発電を利用した夜間ライトアップ（蓄電池を利用）【2】			
	○北部5市2町が一体となった旅客へのおもてなし【共】			
⑤景観整備等、各港の特徴を踏まえた魅力向上	○京都港としての一体的なPR【共】			
	○ブランディング戦略（みなとオアシス、港カード等）【共】			
	●ふ頭・旅客ターミナルの景観整備【2】			
⑥景観整備等、各港の特徴を踏まえた魅力向上	●景観保全事業（天橋立等の景勝地の景観保全等）【共】			
	●オリンピックを踏まえた久美浜港の棧橋補修等の施設整備【共】			
	●第Ⅱ期整備着工【国】	●第2バース完成【国】	●物流拠点化（第Ⅱ期整備完成：バルク、コンテナ取扱機能強化）【国】	
⑦新たな価値の創出に向けたロジスティクス機能の強化	●第2バース着工【国】	●効率的な荷役機械の整備（トランスファークレーン2基新設）【国】	●ICTによる港湾・物流施設の高度化（AIターミナル）【国】	
	○民間活力活用の検討（再掲）【共】	○OIT化による貨物の可視化【国】	○効率的・効果的な港湾運営体制の構築（再掲）【舞】	
	●臨港道路和田下福井線の完成【舞】	●臨港道路上安久線の完成【舞】	○背後圏への物流拠点の誘致【舞】	
⑧新たな価値の創出に向けたロジスティクス機能の強化	●臨港道路上安久線の着工【舞】	○外資定期コンテナ航路の拡大【国】	●国有地・府有地を活用した港湾業務機能の強化【国】	
	●未利用地の有効活用【国】	○外貨定期コンテナ航路の拡大【国】	●ヤード拡張【喜】	
	○インセンティブの戦略的拡充【舞】	●国際・国内一体となった高速海上シームレス輸送【舞】	●Ⅱ期地区への自動システム導入（AIターミナル）【国】	
⑨国際・国内一体となった高速海上シームレス輸送の実現	○基幹荷主の確保による航路拡充等の取り組み強化【舞】	●前島国際フェリー受入体制構築（岸壁）（再掲）【前】	●臨港道路前島ふ頭線の着工【前】	
	○京都府北部5市2町の特産品輸出促進【共】	○外貨定期コンテナ航路の拡大（再掲）【国】	●臨港道路和田北吸線の着工【国】	
	○バイオマス発電の集積による再生可能エネルギーの拠点化【舞】	○港湾情報一元管理による物流の高度化【国】	●大型クレーンの増設【国】	
⑩国際・国内一体となった高速海上シームレス輸送の実現	○OICTを活用し、小口荷物等創貨活動の取組強化【共】	○港湾内オペレーションの高度化【国】	●港湾施設の長寿命化対策の推進（耐震岸壁等）【舞】	
	○データに基づくビジネスモデルの構築と集荷活動等の取組強化【共】	●第2バース完成、臨港道路上安久線の完成（再掲）【舞】	●物流拠点化（第Ⅱ期整備完成：バルク、コンテナ取扱機能強化）（再掲）【国】	
	○国際フェリー大型化・直航化【前】	○労働人口不足、安全に対応した港湾業務のIoT化、人材育成【舞】	○港湾関連施設（倉庫等）の誘致【国】	
⑪平時の利用を前提とした太平洋港湾のバックアップ機能強化	●第2バース着工、第Ⅱ期整備着工、臨港道路和田下福井線の完成及び上安久線の着工（再掲）【舞】	●複数船舶が着岸可能な岸壁の整備【前】	●船舶の大型化に対応した大水深岸壁の整備【国】	
	○太平洋側港湾のバックアップ機能の強化【舞】			
	○BCP（事業継続計画）による訓練の拡充【舞】			
⑫中国・韓国・極東ロシアの物流ゲートウェイ機能強化	●上屋施設、倉庫の整備【国】			
⑬環境負荷の少ない新たなエネルギー拠点	○再生可能エネルギー施設・設備の積極導入【舞】	●既存施設への熱融通の実現【舞】	●LNG構想（基地・発電・パイプライン）の実現【平】	
	○エネルギーマネジメントシステムの整備【舞】	○特定需要家の立地促進【舞】	○エリアデータとエネルギーを活用した地域支援の実現【舞】	
	○バイオマス発電立地促進（再掲）【舞】	○エネルギーとエリア情報の融合【舞】		
⑭再生可能エネルギー利用と情報化による高度な機能	●スマートライトの導入【舞】	○地域新電力の立ち上げ【舞】	○陸電供給システムや省エネ車両等の受入充実、LNGバンガリングの拠点形成【舞】	
	○港湾における再生可能エネルギーの導入促進【舞】	●安心・快適な利用に向けた港湾設備【舞】	○港湾施設・周辺の3Dマップ化【舞】	
	○Wi-Fi環境の整備（再掲）【共】	○港湾システムの利用促進【国】	○民の視点による効率的な港湾運営【舞】	
⑮再生可能エネルギー及びICTを活用したグローバルかつ高質なおもてなし	●ふ頭・旅客ターミナルの景観整備（再掲）【2】	○港湾情報一元管理による物流の高度化（再掲）【国】	○ビックデータ活用ビジネスの展開【共】	
	●旅客船用ふ頭の整備推進【2】	○港湾内オペレーションの高度化（再掲）【国】	○港湾周辺への自動運転の拡張（再掲）【共】	
	●太陽光発電を利用した夜間ライトアップ（蓄電池を利用）（再掲）【2】	○港湾内における自動運転（再掲）【舞】		
⑯再生可能エネルギー及びICTを活用したグローバルかつ高質なおもてなし	○移動手段の確保・インバウンド対応等の港湾内おもてなし機能の充実【舞】	○ふ頭内のキャッシュレス化の実現（再掲）【2】		
	○多言語化の推進及び翻訳サービスの導入検討【舞】	○翻訳機付きEVレンタカー／バイクシェアシステムの導入【2】		
	○再生可能エネルギー電源とEV（電気自動車）の活用【舞】	○観光情報一元管理によるおもてなしの高度化【共】		
⑰再生可能エネルギー及びICTを活用したグローバルかつ高質なおもてなし	○デジタルサイネージ等による観光情報の提供（再掲）【共】	○フィッシャーマンズワープなどの賑わい施設の誘致【舞】		

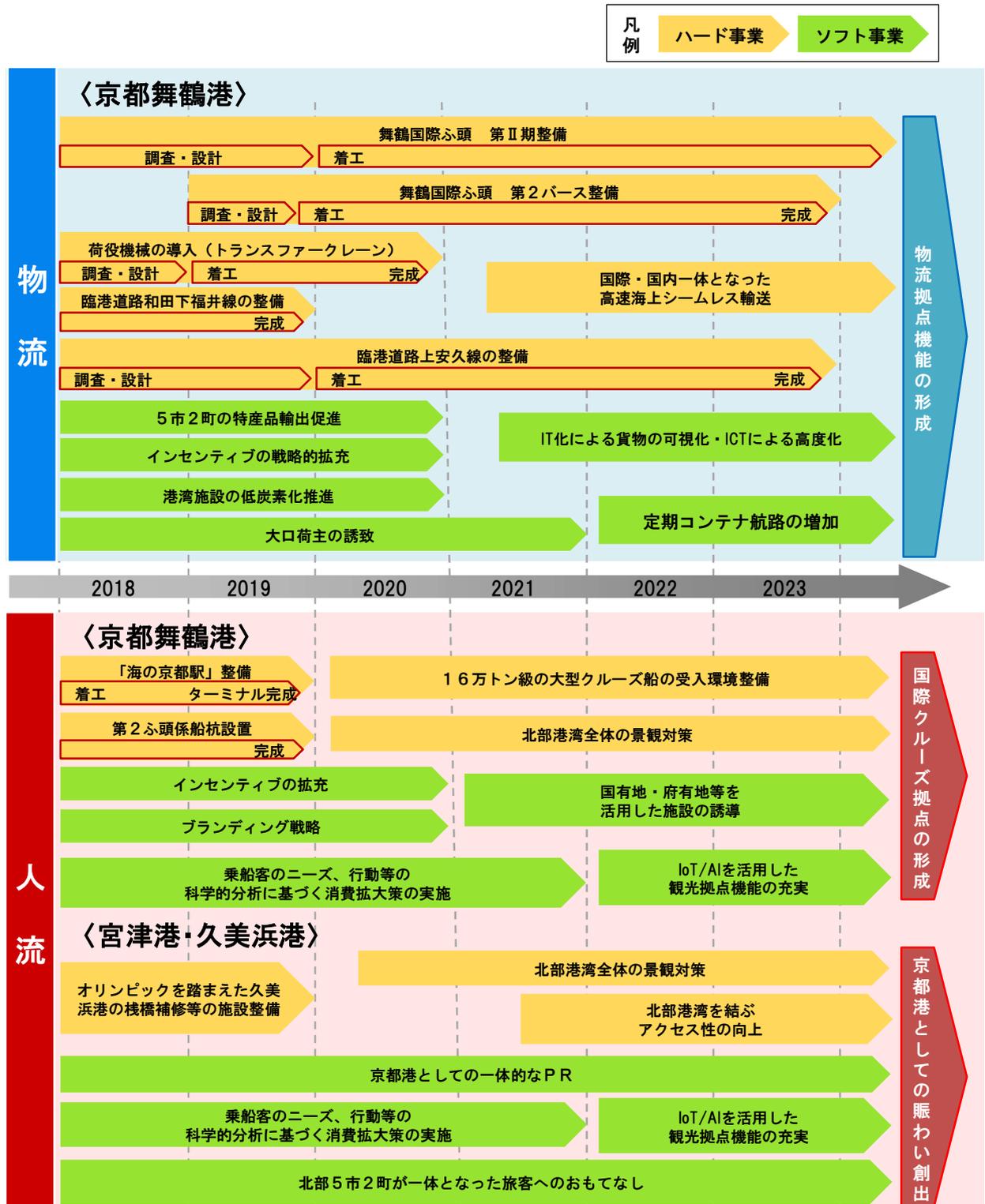
情報基盤

各分野間の連携や相乗効果を支える情報基盤の構築

7 ロードマップ

今回策定した「北部港湾広域利用推進会議報告書」については、2020年代初頭を目標とした「舞鶴港港湾計画」改訂までの間、以下のロードマップを目安に、今回検討した各施策に順次取り組み、整備等を進めていきます。

また、「舞鶴港港湾計画」改訂時には、今回検討した各施策の進捗状況を踏まえ、改訂を検討することとします。



8 進捗確認と検証

京都舞鶴港実務者会議において、目標達成に向け、毎年、進捗状況を確認し、北部港湾全体で最適化できるよう地域を元気にする港湾施策の検証を行っていきます。

検証結果については、北部港湾広域利用推進会議で報告のうえ、必要に応じて見直しを検討します。

京都舞鶴港については、京都舞鶴港港湾計画の改訂にあたり、本会議の議論も参考にしていきます。

(1) 進捗状況の確認

- | | |
|--------|------------------------|
| ① 未着手 | 計画検討等進捗が無い状況 |
| ② 検討段階 | 実施計画策定のための会議等を開催している状況 |
| ③ 計画段階 | 実施計画を策定している状況 |
| ④ 実施段階 | 工事発注や実証実験など取り組んでいる状況 |
| ⑤ 完了 | 工事検査完了や設置済みの状況 |

(2) 検証の方法

上記の進捗状況を踏まえ、次の項目について5段階で検証する。

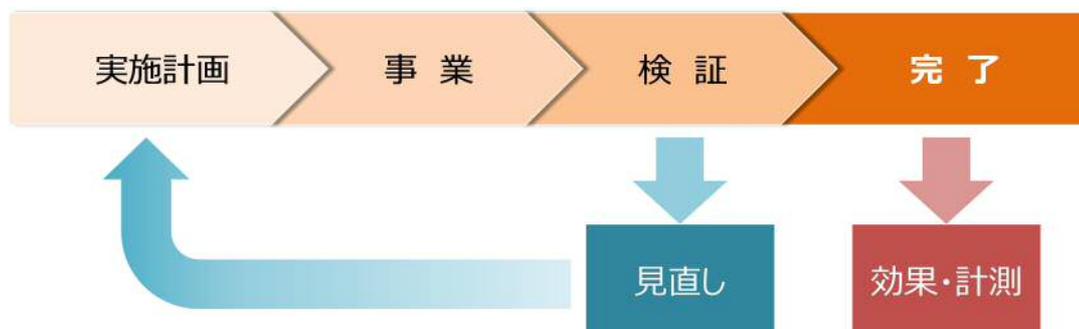
① 項目

- ・ 着手時期は適切か
- ・ 実施計画は適切か
- ・ 設置の効果は
(単独施策及び
関連施策との相乗)

② 5段階の目安

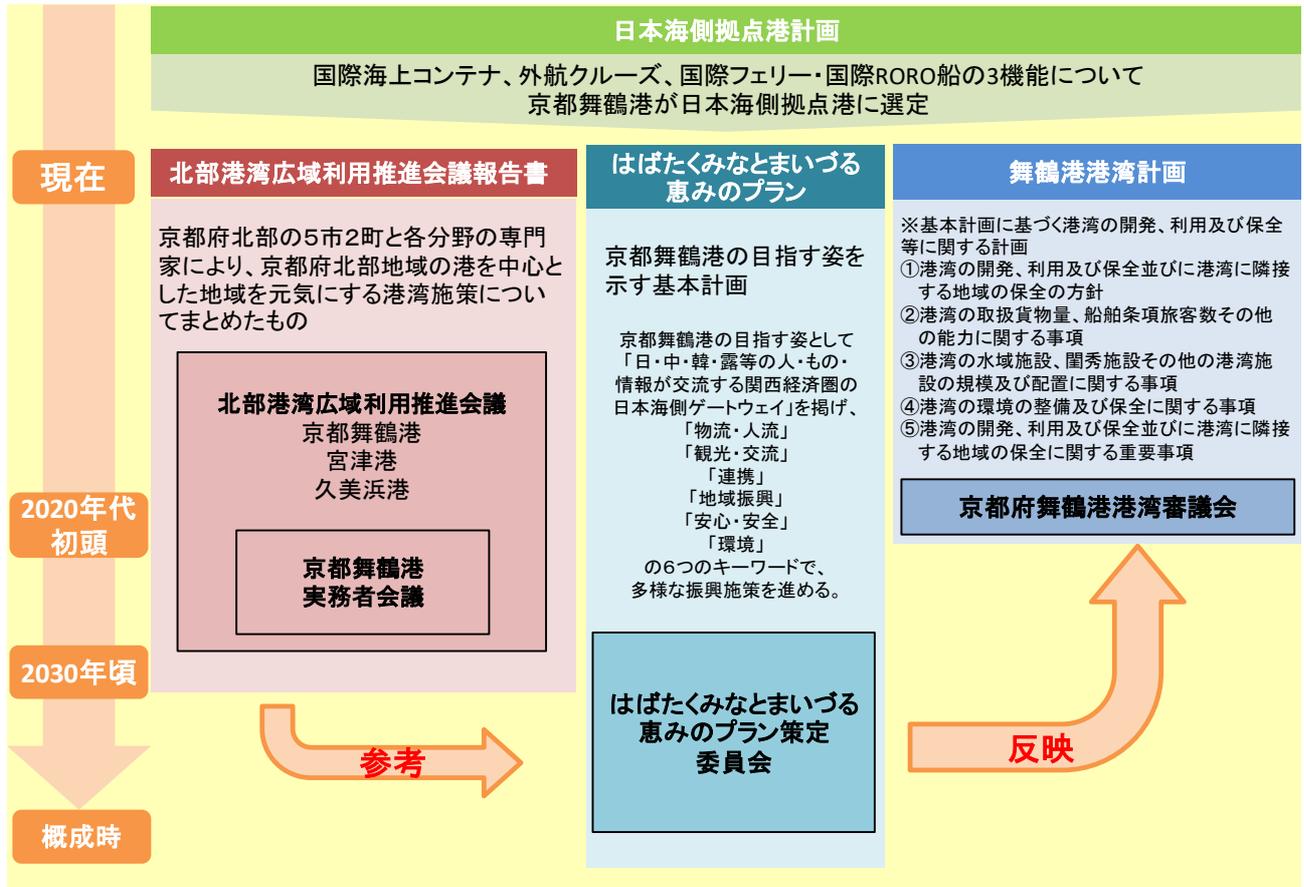
1. 実施計画以上の大きな波及効果があり、大変すばらしい
2. 実施計画以上の効果がありすばらしい
3. 実施計画どおりの効果
4. 実施計画まで効果が確認できず、改善が必要
5. 実施計画とは大きな乖離があり、見直しが必要

【検証のイメージ】



9 北部港湾広域利用推進会議報告書の位置付け

○北部港湾広域利用推進会議報告書の位置付け



○委員名簿

京都舞鶴港実務者会議委員

氏名	現職名
今井 真二	(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社 取締役総合企画局長
小谷 通泰	神戸大学名誉教授
篠原 正人	福知山公立大学教授
土井 渡	(一社)綾部工業団地振興センター専務理事
新田 稔	(一社)長田野工業センター専務理事
吉田 昌樹	飯野港運(株) 営業部長
澤田 信幸	(一社)京都舞鶴港振興会専務理事
近江 喜彦	新日本海フェリー(株)舞鶴支店長
小東 雅幸	日本通運(株)舞鶴海運支店長
久保 勝	舞鶴倉庫(株)取締役営業開発部長
竹原 和男	(株)舞鶴21常務取締役
近畿地方整備局舞鶴港湾事務所長	
舞鶴海上保安部長	
近畿財務局京都財務事務所舞鶴出張所長	
福知山市担当部長	
舞鶴市担当部長	
綾部市担当部長	
宮津市担当部長	
京丹后市担当部長	
伊根町担当課長	
与謝野町担当課長	

北部港湾広域利用推進会議委員

氏名	現職名
伊庭 節子	(特非)まいつるネットワークの会理事長
今井 一雄	(一社)京都経済同友会北部委員長
上村 多恵子	国土交通省交通政策審議会委員
小谷 通泰	神戸大学名誉教授
篠原 正人	福知山公立大学教授
大同 一生	(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社社長
内藤 克彦	京都大学大学院特任教授
長田 信	近畿地方整備局副局長
大橋 一夫	福知山市長
多々見 良三	舞鶴市長
山崎 善也	綾部市長
井上 正嗣	宮津市長
三崎 政直	京丹後市長
吉本 秀樹	伊根町長
山添 藤真	与謝野町長
山下 晃正	京都府副知事

10 参考資料

